

日本語で歌う

「第九」

2011
歓喜の歌



2011年 12月 18日(日)

鎌倉芸術館 大ホール

午後 3 時開演 (午後 2 時 30 分開場)

主催：鎌倉市芸術館指定管理者サントリーパブリシティサービスグループ

L.v. ベートーヴェン
Ludwig van Beethoven

エグモント Op.84 序曲
"Egmont" Op.84 <Overture>

交響曲第9番 二短調 Op.125 「合唱付」

(なかにし礼 日本語詩版)

Symphony No.9 in d minor, op.125 "Choral"

- I. Allegro ma non troppo, un poco maestoso
- II. Molto vivace
- III. Adagio molto e cantabile
- IV. Presto

※本日の公演には休憩がございません。あらかじめご了承ください。

鎌倉芸術館開館以来、姉妹都市交流の一環として山口県萩市より、また、日本語の第九公演を23年にわたり開催している三重県東員町からも、この『日本語で歌う「第九」2011 歓喜の歌』公演に合唱団の一員としてご参加いただいております。

歓喜に寄す

原詩：フリードリッヒ・フォン・シラー

日本語詩：なかにし礼

わが友よ 歌うなら
もっと 快い歌を歌おう
歓びにみちた 歌を

愛 愛
愛こそ歓喜にみちびく光
さえぎる 苦難を越えて進まん
歓喜の頂き踏みしめた時
我らは兄弟世界は一つ

気高き乙女をかり得たものよ
手をとって歓喜の叫びをあげよう
人間一人で何が出来よう
愛なき孤独の人は立ち去れ

生あるものみな分けへだてなく
自然の乳房に抱かれて生きる
幼き子供も罪ある人も
集いて歌わん 歓喜の歌を
歓喜の歌を 歌を
歌 歌

行け 行け
胸をはずませ 雄々しく
空ゆく太陽の
歩みのように

いざ進め友よ
いざ進め友よ
勝利におもむく
勇士のように
進め 進め
勇士のように

くちづけ
接吻交わさん
世界の同志よ
父は住み給う
星空かなたに
父は住み給う
星空かなたに

地にふし あがめん
父なる神
あゝ 星空かなた
神は天にあり
神は天にあり

愛こそ歓喜にみちびく光
母なる歓喜
歓喜は世界の母なり



田久保 裕一 (指揮)

東京学芸大学音楽科卒業。指揮を伊藤藤一、伴有雄、汐澤安彦、秋山和慶の各氏に師事、またチェロ、室内楽を黒川健氏に師事。1980年～1992年12年間、千葉県習志野市にて小中学校の音楽教師を務める。1992年に退職し、プロの指揮者に転向。1992年～1993年、リヒャルト・シューマッヒャー氏、ウィーカール・エスターライヒャー教授、湯浅勇治氏、ハンス・グラーフ教授の各氏に師事。1993年8月、アウアースベルク宮殿主催の特別演奏会にて二夜ウィーン・レジデンツ・オーケストラを指揮し、ウィーン・デビュー。1994年、上野学園大学音楽学部講師、桐朋学園付属子供のための音楽教室講師。1994年11月、第4回「ディム・ニクレスク」国際指揮者コンクールにてグランプリを日本人初受賞。また、審査員特別賞「ルーマニア現代音楽演奏賞」と聴衆特別賞もあわせて受賞し、ルーマニア国立「ジョルジュ・ディマ」フィルハーモニー交響楽団を指揮。これまでに新星日本交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、京都市交響楽団をはじめ、名古屋フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、群馬交響楽団、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉等、国内の主要オーケストラを指揮。また、全国のアマチュアオーケストラや合唱団の育成にも尽力している。

日本指揮者協会会員。東京指揮研究会代表。



亀田 眞山美 (ソプラノ)

東京藝術大学別科修了後、洗足学園音楽大学卒業。オペラ「魔笛」の夜の女王でデビュー、以来二期会、日生劇場公演をはじめ多くの公演に出演している。他のオペラでは、「後宮からの逃走」のコンスタンツェ、「ポントの王ミトリターテ」のアスパージャ、「劇場支配人」のヘルツ夫人、「シンデレラ」(マズネ)の妖精の女王、「オルフェオとアウリディーチェ」のエウリディーチェ、「ヘンゼルとグレーテル」のグレーテル、「金閣寺」(日本初演)の母親等を歌っている。1988年より、ローマ・モスクワ・ブエノスアイレス・ケルン・ベオグラード・ロンドン・ウルグアイ・サンパウロ・ウィーン等でリサイタルやコンサートに出演し、日本歌曲の紹介にも取り組んだ。特にサンパウロでの2回のリサイタルは大好評であった。また、「第九」や「メサイア」「レクイエム」等宗教曲のソリストの他、ヴィラ＝ロボス「ブラジル風バッハ」等オーケストラとも共演している。新作を手がけたものをはじめ、リサイタルも数多く重ねると共に、日本歌曲の分野にも意欲的に取り組むなど、幅広い演奏活動を続けている。洗足学園音楽大学講師、二期会会員。鎌倉音楽クラブ会員。



稲本 まき子 (アルト)

東京藝術大学卒業、同大学院修了。戸田敏子、田中伸枝、児島百代の各氏に師事。NHK 洋楽オーディションに合格し、プラームスの歌曲で出演する。コンサートでは、バッハ「ヨハネ受難曲」「マニフィカート」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「戴冠ミサ」、ペルゴレージ「スタバド・マーテル」、ヴィヴァルディ「グローリア」等の宗教曲や、「第九」のアルトとして活躍している。オペラは「リゴレット」のジョヴァンナでデビュー。「フィガロの結婚」のマルチェリーナ、「魔笛」の侍女、「コシ・ファン・トゥッテ」のドラベッラ、「アルバート・ヘリング」の母親などを演じている。昭和音楽大学、アプリ・カルチャーセンター講師、横浜シティオペラ、鎌倉音楽クラブ会員。



鎌倉交響楽団

鎌倉市民によるアマチュア管弦楽団として1963年に発足。来年は創立50周年を迎える。団員は幅広い年齢層と様々な職業から構成され、現在その数は120人を超える。市の音楽文化の牽引役として、春と秋の定期演奏会、ファミリーコンサート、鎌倉市の幼稚園協会による園児のための演奏会、年2回の室内演奏会などを行っている。地元を代表する交響楽団として何度も第九演奏を行う一方、活動の場は市外にも及び、1999年、2006年、2009年には、姉妹都市である鎌倉・萩南市で第九演奏会に出演。特に2009年、萩市民館大ホールで開催された「鎌倉市・萩市姉妹都市提携30周年記念第九演奏会」では、第九の魅力をあますところなく伝える演奏が大きな喝采を浴びた。来年10月の第100回定期演奏会では、創立50周年演奏会としてマーラーの大曲「交響曲第2番「復活」」を、地元コーラスの協力を得て演奏する予定である。



小林 彰英 (テノール)

東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修了。文化庁オペラ研修所第6期生修了。森明彦、三林輝夫、故・疋田生次郎、故・山路芳久、カルロ・メリチャーニ諸氏に師事。第16回イタリア声楽コンクールソ・テノール特賞受賞。文化庁芸術家在外研修員としてイタリアに留学。在伊中、第8回エルトコロノ国際声楽コンクールで第2位入賞。オペラでは、二期会「メリー・ウィドウ」のカミーユ、「チェネントラ」のドン・ラミーロ、「こうもり」のアルフレード、東急 Bunkamura「魔笛」のタミーノほか、「ナクス島のアリアドネ」のブリゲッラ、「ペアトリスとベネディクト」のベネディクト、「オーリー伯爵」のオーリー、「セビリアの理髪師」のアルマヴィーヴァ等を歌っている。またコンサートでは、N響定期でラヴェル「子供と呪文」、都響定期でハイドン「四季」、東響400回記念演奏会でシェーンベルグ「モーゼとアロン」、日フィルでプリテン「セネナード」に出演。その他、「メサイア」、「第九」等の演奏会で多くの主要オーケストラにソリストとして出演。2005年3月韓国・高陽市星沙劇場、8月イタリア・スボレート市カイオ・メリッツ劇場にて「曽根崎心中」徳兵衛で出演。現在、東京音楽大学で講師を務める。東京室内歌劇場会員。二期会会員。



太田 直樹 (バリトン)

東京藝術大学卒業、同大学院修了。シュトゥットガルト音楽大学修了。オペラ研修所第八期修了。新国立劇場、二期会、東京室内歌劇場などのオペラ公演に多数出演。読売日本交響楽団特別演奏会、オーケストラ・アンサンブル金沢定期演奏会、草津夏期国際音楽祭、演連コンサート、ヴォルフ歌曲全曲演奏会シリーズなどを始め、ドイツ歌曲を中心としたコンサートやリサイタル、さらにバッハ、ハイドン、モーツァルト、シューベルト、フォーレ、プラームスなどの合唱曲のソロを多くつとめる。近年では2006年スクロヴァチェフスキ指揮ザールブリュッケン放送交響楽団「第九」、2007年東京室内歌劇場「アルチーナ」、ロジェストヴェンスキ指揮読売日本交響楽団「イオランタ」、「サントリー・ホルンの第九」、2008年東京室内歌劇場「夜長姫と耳男」、横浜シティオペラ「魔笛」、2009年あらかわパイロイト「バルジファル」、まつもと市民オペラ「椿姫」、2010年「冬の旅」全曲リサイタル、東京室内歌劇場「カリスト」などに出演するほか、東京、埼玉、松本、岡山などでリサイタルを行っている。国立音楽大学、桐朋学園芸術短期大学、都立芸術高校非常勤講師。二期会会員。東京室内歌劇場会員。まつもと市民オペラプロデューサー。



日本語で歌う「第九」2011 合唱団

総勢307名が参加。9月19日より20回の練習を重ねる。姉妹都市・山口県萩市の合唱団より4名、長年日本語の第九公演を続ける三重県東員町の合唱団より3名の賛助出演をいただき、練習の成果を本日披露する。

合唱指揮： 富澤裕、辻端幹彦
ピアノ伴奏： 星野山実、土方協子、黒岩祐子、江原郊子



ソプラノ

浅岡信江、浅谷玲子、真紀子、井草美夏、池田美智子、石井美智子、石井美智子、石黒加代子、伊藤美千子、岩崎美香子、岩村美智子、岩村美智子、上田美枝子、内田美香子、梅喜世子、大橋直江子、太田真由子、大野真由子、尾崎藤榮子、加藤朋子、河崎貴美子、川村孝愛子、菅野久広子、岸北明子、北澤幸子、紀木裕佳子、木村深英子、蔵原藤順子、桑原佐野子、佐藤正洋子、塩田

アルト

青木蓮、芦川馨子、阿部早枝子、荒谷みつ嘉子、池谷多梨子、石井悠梨子、市勢永香子、伊東美知子、上田昌春子、植内まゆみ子、大平容美子、大塚恵子、大森伸子、岡田久美子、尾合章子、小野みお子、加藤昭子、川和恵子、川渕信子、河村桂子、菊池陽子、木谷典子、木村富真子、久保昭子、黒山マリア子、高小京子、後藤千鶴子、後藤朝

テノール

野口俊、秋本順子、橋本靖子、濱林薫博子、原田有香子、東日福嶋文子、藤船山正春子、古川道智子、古谷規子、星野真宏子、堀江爽子、真松洋子、三宗重和子、望月久巴子、矢結登志子、遊横久穗子、横山八重子、吉米和智子、渡邊

バス

青木俊憲、天田雅隆、荒木喜一、安齊則、東猪狩川、猪妹川、岩本康文、岩鷗原勝充、小野直忠、加勝剛、澤川剛、金川勝、川池勝、後藤勝、佐藤恒、進管野、管野尾、真利高、塚長岡、長岡村、中田鶴、中鳴根、野上早、日野廣、瀨村那、福真三、御園宮、矢野田

○: 鎌倉芸術館開館以来、秋市・鎌倉市の姉妹都市交流として、毎年本第九の合唱に参加いただいている秋市のみなさんです。
●: 日本語の第九公演を23年にわたり開催している三重県東員町のみなさんです。

鎌倉交響楽団

1st Violins 石川 静 石川 雄太 岩谷かおり 大野 孝士 河原 寛 桐本 圭三 五味 俊哉 鈴木 涉子 須長 麗子 曾根 民子 戸田 道子 福山 彩子 森野 桂子 山岡 祐介	2nd Violins 新井 俊成 石橋 智子 梅原 哲郎 小川 謙 五味 晶子 佐藤 理洋 重兼 文恵 白水 千晶 菅井 直介 関口中橋美子 宮原 輪井 村井 森下 柳沼 山 矢野 柳原	Violas 阿部 明美 石川 まり 大貫 歩美 梶 成彦 佐々木 敬史 高村 俊彦 薬山 祐子 中村 文江 正木 基身 三門 力工 水上 清	Cellos 飯田 達男 岩本 富美雄 梶 淳子 佐藤 洋子 志村 篤子 鈴木 達広 中井 良樹 中野 太一 二川 有子 毛利 史子	Double Basses 大内 達郎 佐藤 正 廣瀬 澄夫 福島 晋哉 矢野 健均 渡辺 定彦 梅沢	Oboes 桑野 若菜 清水 里美 辻 亮平 中橋 英純 山本 賢二	Bassoons 富井 一夫 三浦 隆昭 三原 一真	Trumpets 後藤 三穂子 津金 勝技 浜野 耕平 福地 稔栄	Trombones 有賀 功 桜井 貴志 府川 創作	Clarinets 内田 千枝子 片山 真知子 篠原 祐子 前沢 実	Horns 稻生 真莉 白井 賢司 豊嶋 順子 服部 給里子 宮崎 敏幸	Percussions 今城 信彦 高橋 正彦 仲谷のぞみ 養田 俊之
--	---	---	---	---	--	--	--	--	---	--	--